

○調査結果の概要

1.貿易企業の概要

・貿易実績のある企業170社

2009年（暦年）における輸出企業は105社（前年100社）、輸入企業は111社（同109社）、これらの内で輸出入ともに行っている企業は46社（同46社）で、貿易企業は170社（同163社）となった。

所在地別では、松江市が38社と最も多く、続いて出雲市27社、浜田市19社の順となった。

2.貿易実績

・鳥根県の2009年貿易額は、前年比25.7%減の2,905億円

県内企業の2009年（暦年）の貿易額（輸出入額）は2,905億円（前年3,908億円）であり、前年比25.7%の減少となった。なお、同年の日本の貿易額（105兆6,699億円、前年159兆9,728億円）は前年比33.9%の減少となっている。

県の輸出入バランスは、輸出額1,248億円（前年1,938億円）に対し、輸入額は1,657億円（前年1,969億円）となっており、409億円の輸入超過（前年は309億円の入超）となった。なお、日本の同年輸出額は54兆1,706億円、輸入は51兆4,993億円と2兆6,713億円の出超である。

(1) 輸出の実績

・輸出額は前年比35.6%減、市場別ではアジアに61.2%、ヨーロッパに19.0%

2009年（暦年）の県内企業の輸出額は1,248億2千万円（前年1,938億9千万円）であり、リーマンショックによる世界同時不況の影響により対前年比35.6%の減となった。なお、日本全体では前年比33.1%減であった。

輸出品目別では、「機械、電気機器及び同製品並びに部分品」が749億7千万円（構成比60.1%）と最も多く、次いで「卑金属及び同製品」が308億9千万円（同24.7%）となっており、両品目で輸出全体の84.8%を占めた。

輸出を地域別にみると、アジア州が763億9千万円（構成比61.2%）、ヨーロッパ州が236億6千万円（同19.0%）、北アメリカ州が232億2千万円（同18.6%）となっており、この三地域で全体の98.8%を占めている。国別輸出額でみると、1位アメリカ（構成比18.3%）、2位シンガポール（同14.4%）、3位中国（同12.9%）、4位ドイツ（同12.7%）5位韓国（同9.6%）となっている。

輸出形態では、間接輸出が972億7千万円（構成比77.9%）、直接輸出が273億4千万円（同21.9%）、間接輸出と直接輸出の併用が2億1千万円（同0.2%）となっており、間接輸出の割合が高くなっている。

輸出の積出港をみると、最も多かったのは神戸港で全体の68.3%、次いで関西国際空港が16.4%と続いている。なお山陰地方の港の積出は、浜田港1.1%、境港1.0%となっている。

(2) 輸入の実績

・輸入額は前年比15.9%減、輸入全体の62.7%が電気機器・同部分品

2009年（歴年）の県内企業の輸入額は1,657億1千万円（前年1,969億8千万円）であり、対前年比15.9%の減となった。「鉱物性生産品」の輸入額は増加したものの、輸出同様、世界同時不況の影響により他品目の輸入が減少したことが原因として挙げられる。なお、日本全体では前年比34.8%減であった。

輸入を品目別にみると、「電気機器・同部分品」が1,039億6千万円（構成比62.7%）が最も多く、次いで「石油、石炭など鉱物性燃料類」が364億円（同22.0%）、「木材・同製品・木炭」が90億8千万円（同5.5%）となっている。

地域別では、アジア州が1,102億1千万円（構成比66.5%）と最も多く、大洋州が307億5千万円（同18.6%）と続いており、両地域で全体の85.1%を占めている。国別輸入額でみると、1位中国（構成比36.2%）、2位オーストラリア（同18.2%）、3位フィリピン（同7.2%）、4位マレーシア（同5.5%）、5位タイ（同4.8%）となっている。

輸入形態は、間接輸入が1,198億9千万円（同72.3%）、直接輸入が411億6千万円（同24.8%）、間接輸入と直接輸入の併用が46億6千万円（同2.8%）となっており、間接輸入の割合が多かった。

輸入を荷揚港別にみると、最も多かったのは成田空港で全体の61.7%（前年56.3%）を占めた。なお、山陰地方の港の荷揚げは、三隅港21.4%、境港5.0%、浜田港1.7%となっている。

3. 海外直接投資

・投資先は中国が全体の57.1%

海外への投資案件は全体で18社28件（前年18社29件）となっており、投資先を国別にみると、中国16件、アメリカ4件、タイ3件、韓国、台湾、インドネシア、オランダ、ロシアが各1件となっており、件数比で中国が57.1%、中国を含むアジア州が78.6%を占めている。

形態別では合弁10件、独資10件、駐在員事務所6件、支店、その他それぞれ1件となっている。

4. 外国企業との提携

・提携先の上位は、中国、韓国で全体の57.8%

県内企業の外国企業との提携は全体で28社45件（前年24社44件）あり、提携先を国別にみると、中国が14件と最も多く、次いで韓国12件、アメリカ4件、ベトナム3件、タイ、ドイツ各2件、台湾、マレーシア、フィリピン、インドネシア、香港、オランダ、ポーランド、カナダ各1件となっている。

地域別にみると、アジア州が36件で80.0%を占め、北アメリカ州11.1%、ヨーロッパ州8.9%となっている。

形態別では、委託加工19件、販売代理店契約9件、技術供与8件、技術導入1件、その他1件となっている。